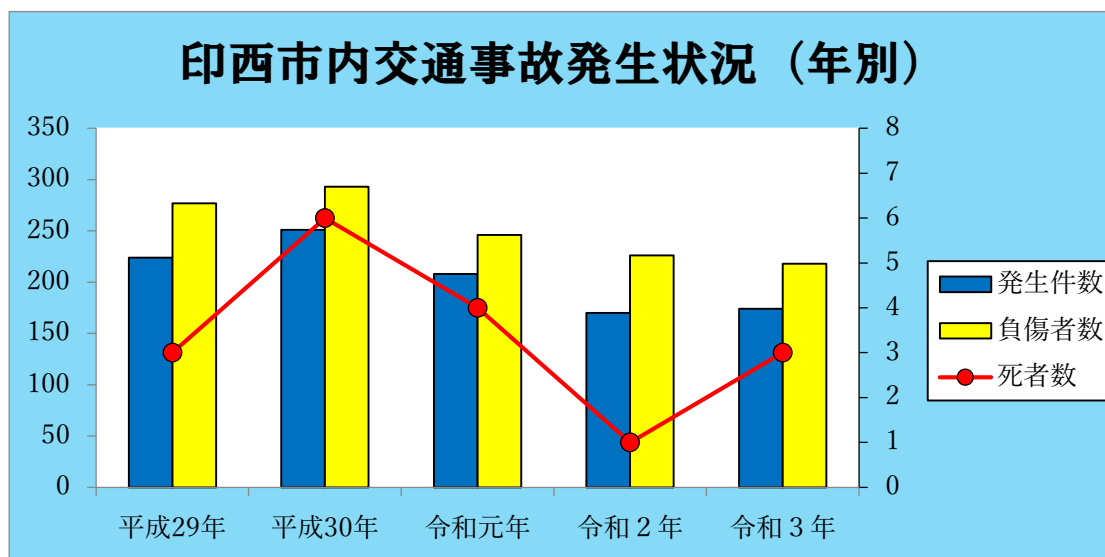


道路交通事故のすう勢

ア 交通事故の現状

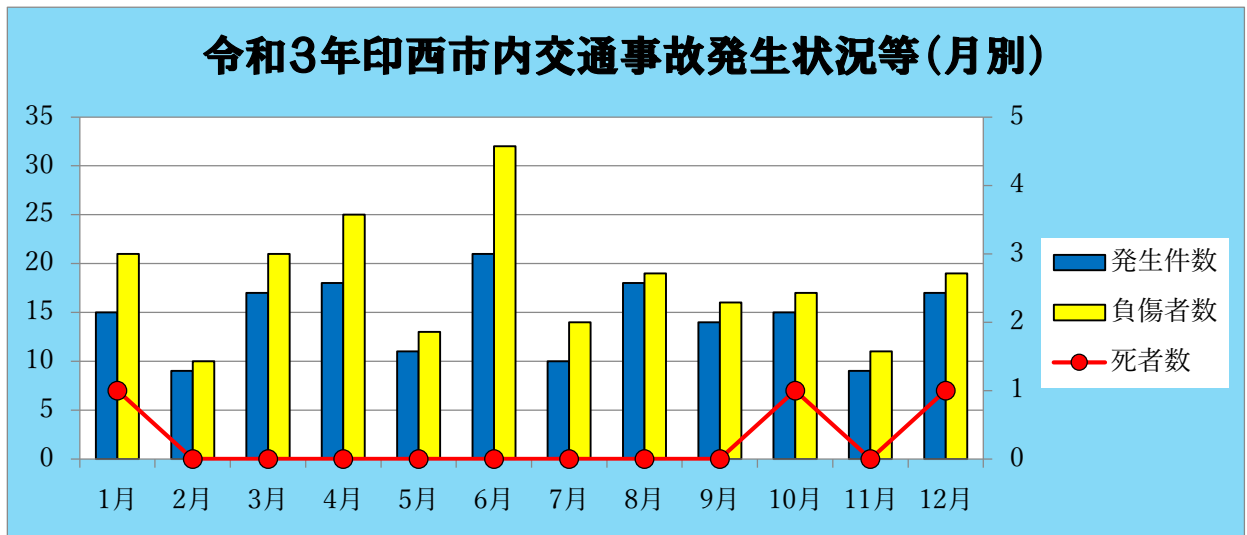
市内における過去5年の交通事故の状況について、平成30年が発生件数251件、負傷者数293人、死者数6人と最も多く、翌年以降から減少しましたが、令和3年は、発生件数174件、負傷者数218人、死者数3人と増加しました。

【過去5年の交通事故発生状況】



年	H29	H30	R1	R2	R3
発生件数	223	251	208	170	174
負傷者数	277	293	246	226	218
死者数	3	6	4	1	3

【交通事故の月別発生状況】

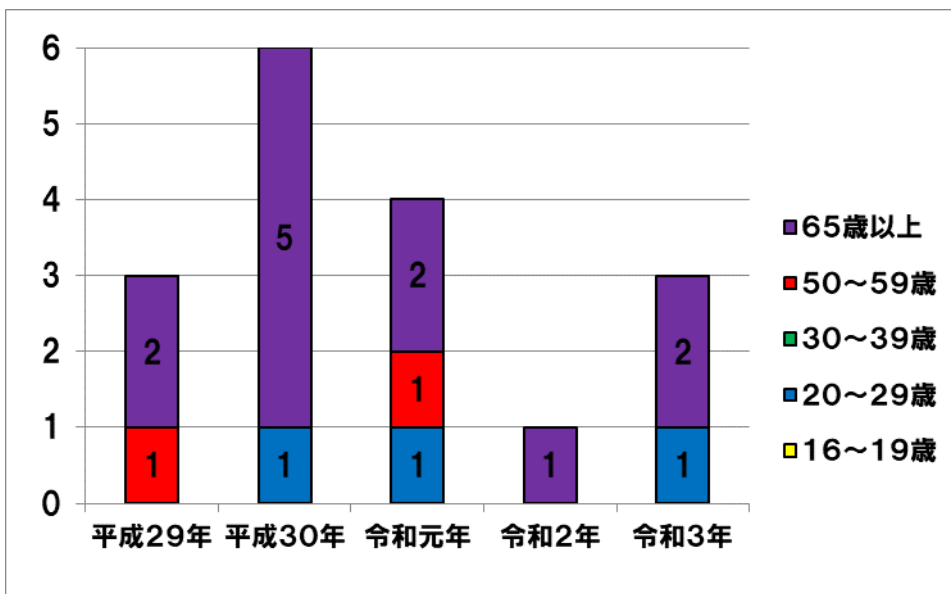


月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
発生件数	15	9	17	18	11	21	10	18	14	15	9	17
負傷者数	21	10	21	25	13	32	14	19	16	17	11	19
死者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

【特徴】 月別の発生状況では、年間平均で約15件程度の交通事故が発生しました。
 その中で、2月については、発生件数、負傷者数、死者数ともに最も少ない数値になっております。

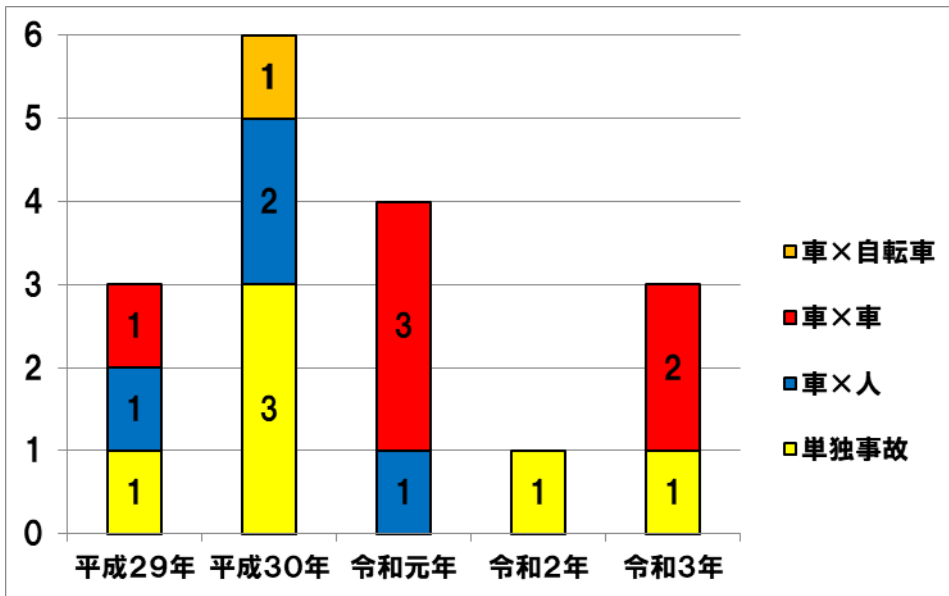
イ 交通死亡事故の特徴(過去5年)

a 原因者年齢層別発生状況



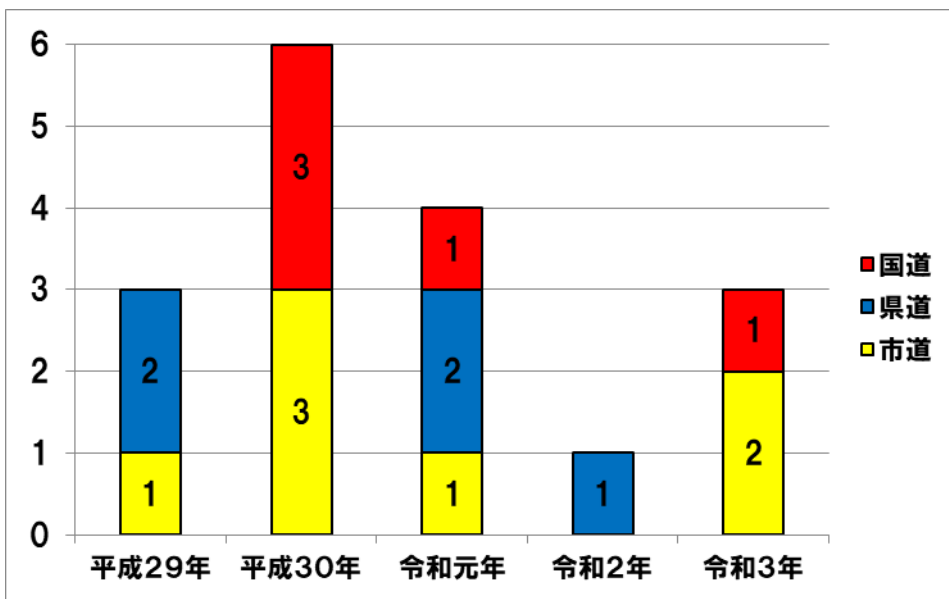
【特徴】 原因者年齢層別発生状況では、65歳以上が合計12件と最も多くなっています。

b 類型別発生状況



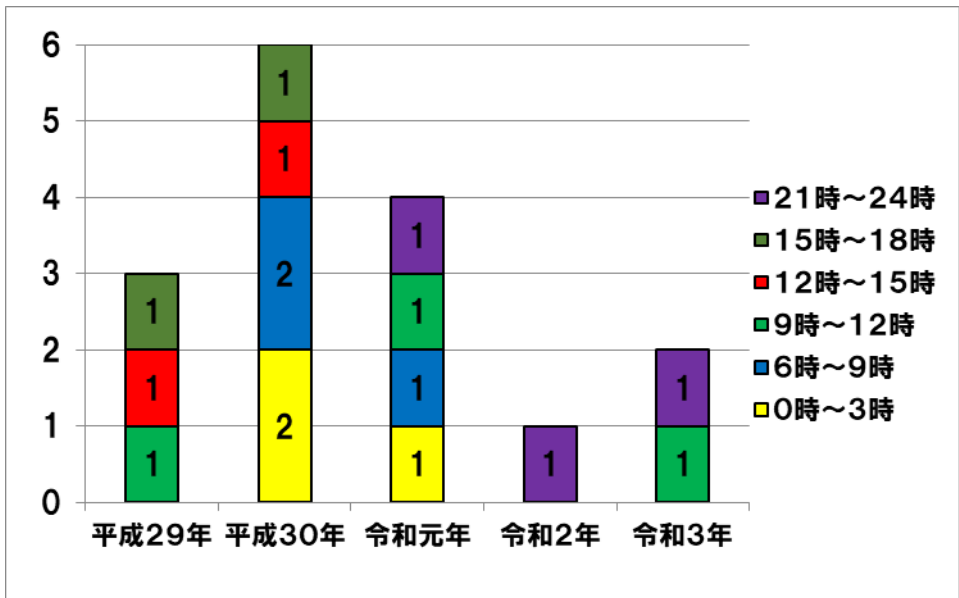
【特徴】 類型別の発生状況では、車×車、単独事故がそれぞれ6件で全体の約71%と最も多くなっています。

c 路線別発生状況



【特徴】 路線別の発生状況では、市道での発生件数が7件で全体の約42%と最も多くなっています。

d 時間帯発生状況



【特徴】 平成30年から18時～24時、0時～6時の夜間の事故が発生しています。

ウ 交通人身事故の特徴

a 原因者年齢層別発生状況

年/年齢	0～12 歳	13～15 歳	16～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65歳 以上	不明
平成29年	8	0	4	31	37	41	29	14	59	0
平成30年	0	0	3	36	39	47	37	16	70	3
令和元年	0	1	6	29	34	38	25	16	54	5
令和2年	1	1	4	18	22	29	35	12	48	0
令和3年	0	1	0	29	27	28	26	11	47	5
合計	9	3	17	143	159	183	152	69	278	13

※「a 原因者年齢層別発生状況」は、第一当事者の数

※「不明」はひき逃げ

【特徴】 原因者年齢層別発生状況では、65歳以上が278件で最も多く、次いで40代の183件、30代の159件の順となっています。

b 類型別発生状況

《車に起因する事故》

	車×車	車×二輪	車×自転車	車×歩行者	車×軽車両
平成 29 年	135	18	30	34	0
平成 30 年	143	13	49	41	0
令和元年	122	16	39	25	0
令和2年	102	13	22	26	0
令和3年	105	18	25	19	0
合計	607	78	165	145	0

※軽車両は、自転車を除く

《二輪に起因する事故》

	二輪×二輪	二輪×自転車	二輪×歩行者
平成 29 年	0	1	0
平成 30 年	0	0	0
令和元年	0	0	1
令和2年	0	0	0
令和3年	1	0	0
合計	1	1	1

《その他》

	自転車×自転車	自転車×歩行者	その他単独
平成 29 年	0	0	5
平成 30 年	0	1	4
令和元年	2	1	2
令和2年	1	4	2
令和3年	1	2	3
合計	4	8	16

【特徴】 類型別発生状況の車に起因する事故においては、「車対車」が607件で全体の約59%と最も多く、次いで、「車対自転車」の165件、「車対歩行者」の145件の順になっています。

c 路線別発生状況

年/路線	県道								
	千葉 竜ヶ崎線	柏 印西線	市川 印西線	船橋 印西線	千葉臼井 印西線	佐倉 印西線	印西 印旛線	北環状線	南環状線
平成 29 年	14	3	15	1	4	8	2	3	4
平成 30 年	13	2	7	3	9	7	4	2	5
令和元年	16	0	5	3	6	3	2	7	1
令和2年	14	0	3	3	7	6	2	3	2
令和3年	16	1	2	3	4	3	2	6	4
合計	73	6	32	13	30	27	12	21	16

年/路線	県道		市道	国道		その他
	鎌ヶ谷 本笠線	八千代 宗像線		356号	464号	
平成 29 年	0	0	104	22	33	10
平成 30 年	0	0	112	19	54	14
令和元年	0	2	80	17	48	18
令和2年	0	2	71	7	37	13
令和3年	1	0	57	17	44	14
合計	1	4	424	82	216	69

【特徴】 路線別発生状況では、市道が424件で最も多く、次いで国道の298件、県道の237件、その他で69件となっている。
また、国道別、県道別では、国道464号で216件、県道千葉竜ヶ崎線で73件の事故が発生している。

d 時間別発生状況

年/時間	0~2 時	2~4 時	4~6 時	6~8 時	8~10 時	10~12 時	12~14 時	14~16 時	16~18 時	18~20 時	20~22 時	22~ 24時
平成 29 年	4	3	0	25	36	26	37	23	26	24	11	8
平成 30 年	3	3	2	19	26	42	30	29	42	33	16	6
令和元年	2	2	5	22	27	24	28	23	23	36	12	4
令和2年	2	1	3	29	20	19	20	28	26	10	11	1
令和3年	2	0	0	12	25	29	19	22	28	20	14	3
合計	13	9	10	107	134	140	134	125	145	123	64	22

【特徴】 時間別発生状況では、「16時～18時」の時間帯に145件と最も多く、次いで「10時～12時」の140件、「8時～10時」、「12時～14時」の134件の順になっている。